

研究会開催通知

(昭和58年9月15日～10月31日)

研究会	日	時	会場	備考
自然言語処理	9月16日(金)	10:00～17:00	民族学博物館	前号参照
設計自動化	9月20日(火)	13:30～17:00	機械振興会館	同上
計算機アーキテクチャ	9月22日(木)	10:00～17:00	神戸大	同上
マイクロコンピュータ	9月26日(月)	13:30～17:00	機械振興会館	同上
コンピュータビジョン	9月26日(月)	13:00～17:00	東北大	同上
知識工学と人工知能	9月27日(火)	9:30～17:00	九工大	同上
ソフトウェア工学	9月28日(水)	13:30～17:00	機械振興会館	同上
データベース・システム	9月29日(木)	13:30～17:00	同上	同上
ソフトウェア基礎論	9月30日(金)	13:30～17:00	京大	同上
数値解析	10月1日(土)	13:30～17:00	同上	下記参照
記号処理	10月3日(月)	13:30～17:00	横須賀通研	同上
計算機システムの制御と評価	10月14日(金)	9:40～17:00	機械振興会館	同上
グラフィクスとCAD	10月17日(月)	13:00～17:00	名大	同上
自然言語処理	10月21日(金)	10:00～16:00	同上	同上

◆ 第6回 数値解析研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 一松 信, 幹事: 名取 亮, 浜田穂積)

日時 昭和58年10月1日(土) 午後1時半～5時

会場 京都大学数理解析研究所 1階115号室

[京都市左京区北白川追分町, 国鉄: 京都駅烏丸口下車, 市バス: 特17号 北白川下車, 206号 百万遍下車, 地下鉄: 今出川下車, 市バス: 203号 乗継北白川下車. Tel. 075 (751) 2111]

議題 (1) 区間解析による多峰性関数の極値探索法

藤井康雄 (京大・情報処理教育センター)

市田浩三 (京産大・経営)

[概要] 多峰性多変数関数の極値を, 区間解析を用い変数領域の分割と Newton 法を併用して探索する方法と数値実験.

(2) 不完全楕円積分の数値計算法

鳥居達生 (名大・情報工)

[概要] 不完全楕円積分について, 複素解析を利用して, 極めて高精度の計算公式を得た.

(3) BASIC による代数方程式系の数式および数値処理について

小鹿丈夫 (大阪教育大・教育)

[概要] 連立代数方程式系を解くのに、数式処理と数値計算を併用する方式を BASIC で試みる。

(4) 最良近似式計算システム

浜田穂積 (日立・中研)

[概要] 多項式および連分数形式の最良近似式計算プログラムを、偶関数, 奇関数の場合を含めて示す。

◆ 第 27 回 記号処理研究会

(発表件数: 3 件)

(主査: 間野浩太郎, 幹事: 稲田信幸, 後藤滋樹)

日 時 昭和 58 年 10 月 3 日 (月) 午後 1 時半～5 時

会 場 横須賀電気通信研究所 1 階訓練室 (121A)

[横須賀市武 1 丁目 2356, 京浜急行: 野比下車 (品川より約 60 分)]

Tel. 0468 (59) 2687 (知識ベース研究室)

Tel. 0468 (59) 2082 (会場直通但し上記時間のみ)

議 題 (1) 手続きと論理を融合した知識処理言語 PRESTO とその支援系

石田 亨, 串間和彦, 東田正信, 和佐野哲男 (横須賀通研)

[概要] Plog に手続きの制御構造と論理的デバッグ機能を追加し, 手続きと論理の調和を図った。

(2) シーケンシャル PROLOG マシン PEK のアーキテクチャとソフトウェアシステム

田村直之, 和田耕一, 松田秀雄, 小畑正貴, 金田悠紀夫,

前川禎男 (神戸大・工)

[概要] 現在開発中のマイクロプログラム制御形 PROLOG マシンのアーキテクチャ上の特徴とソフトウェアシステムの構造について論じる。

(3) FLATS における制御命令の高速化とハードウェアのシミュレーション・システム PLS について

清水謙多郎 (東大・理), 平木 敬 (電総研), 稲田信幸 (理研),

鈴木正幸, 佐藤三久 (東大・理)

[概要] FLATS の設計・実現のために開発した CAD システムと FLATS の先行制御機構による制御命令 (CALL, RETURN, GOTO, 条件分岐) の高速化について述べる。

(4) フォーラム: PROLOG の長所と短所

稲田信幸 (理研), 後藤滋樹 (武蔵野通研)

[概要] 活発な研究が行われている PROLOG について討論を行う。

◆ 第 20 回 計算機システムの制御と評価研究会

(発表件数: 7 件)

(主査: 益田隆司, 幹事: 小野欽司, 原田紀夫)

日 時 昭和 58 年 10 月 14 日 (金) 午前 9 時 40 分～午後 5 時

会 場

機械振興会館 地下3階1号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 等々力-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. 03 (434) 8211〕

議 題

特集: 計算機システム評価と待ち行列等の理論と応用

理 論

(1) 即時・待時混合システムの拡散近似解法 高橋敬隆 (武蔵野通研)

〔概要〕 データ交換・ファクシミリ通信方式におけるメモリ系のトラフィック設計から抽出した基本モデル「即時・待時混合システム」を拡散近似を用いて解析し, 即時呼の呼損率, 待時呼の平均待ち時間等のトラフィック測度を導出する.

(2) FCFS スケジューリング型サーバを持つ待ち行列網モデルの近似解析手法
山本 彰, 西垣 通 (日立・シ研)

〔概要〕 サービス時間の異なる複数クラスの処理要求を到着順に処理するサーバを持つ待ち行列網の近似解法を提案する.

(3) セントラル・サーバ・モデルにおける処理装置の最適スケジューリング
亀田壽夫 (電通大)

〔概要〕 多重プログラミングの解析に用いられるセントラル・サーバ・モデルにおいて性能指標を最適化するスケジューリング法について論ずる.

(4) セントラル・サーバ・モデルにおける滞在時間の性質

川島 武 (防衛大)

〔概要〕 可逆マルコフ過程という性質を利用し, 滞在時間の分布, 相関係数などを求める方法について検討する.

(5) Limited Processor Sharing Queue について

山崎源治 (工学院大), 逆瀬川浩孝 (筑波大)

〔概要〕 計算機の CPU で一度に入ることができるジョブ数の増加がジョブの系内滞留時間におよぼす影響を明らかにする.

応 用

(6) BCMP 型待ち行列網の計算プログラム (QNMAP) について

末松和代, 畑山茂樹 (航空研)

〔概要〕 BCMP 型待ち行列網で表現できるモデルの特性評価用に開発したプログラムの概要と計算例について述べる.

(7) コンピュータシステムの性能分析・予測システム PERFORMS について

守田節雄, 納富研造 (日電)

〔概要〕 体系的定量的に計算機システムの性能評価作業を行うための支援システム PERFORMS の考え方, ねらい, 特長等について示す.

◆ 第11回 グラフィクスと CAD 研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 穂坂 衛, 幹事: 井越昌紀, 木村文彦, 松家英雄)

日 時 昭和 58 年 10 月 17 日 (月) 午後 1 時~5 時

会場 名古屋大学大型計算機センター 5階演習室
〔名古屋市千種区不老町, 国鉄: 名古屋下車, 地下鉄: 東山線藤ヶ丘行にて本山下車南へ徒歩10分. Tel. 052 (781) 5111〕

- 議題 (1) 異方性反射モデルに関する検討
高木 淳 (三重大・工), 横井茂樹 (名大・工),
鶴岡信治, 木村文隆, 三宅康二 (三重大・工)
〔概要〕 大平が提案した異方性反射モデルを改良したモデルを提案する。
- (2) 曲面の形状感の表現—濃淡図形作画のためのレンダリングルール
近藤邦雄 (名大), 木村文彦 (東大)
〔概要〕 人の理解を助ける濃淡図形を作画するためのレンダリングルールとそれに基づいた作画実験例について述べる。
- (3) コマンドプロセッサジェネレータとその CAD システムへの応用
小島俊雄, 井上久仁子 (機械技研), 小山田芳彰 (東洋情報システム)
〔概要〕 コマンド文法を記述し, そのプロセッサを出力するシステムを, CAD プログラム (オイラオペレータ) 作成に利用した。
- (4) 図形処理端末における分散処理方式の開発とその評価
仁尾 都 (日立), 片岡秀雄, 越智利夫 (日立・ソフト)
〔概要〕 TSS 端末のコマンド単位の入力と中央計算機による実行を同時並行的に処理し, 入力応答性を大幅に向上した。
- (5) 形状モデルによる静電偏向電極の性能の評価と改善
出澤正徳, 相馬 嵩 (理研)
〔概要〕 静電偏向電極の形状モデルより, その特性および電極形状を変更した時の性能を推定し, 電極形状を変更し, 性能の改善を計った。

◆ 第40回 自然言語処理研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 長尾 真, 幹事: 田中穂積, 辻井潤一, 野村浩郷)

日時 昭和58年10月21日(金) 午前10時~午後4時
会場 名古屋大学情報処理教育センター 4階大教室(402)
〔名古屋市千種区不老町, 国鉄: 名古屋下車, 地下鉄: 東山線藤ヶ丘行にて本山下車南へ徒歩10分. Tel. 052 (781) 5111 ex. 5804, 3309〕

- 議題 (1) 言語理解システム MARION-III における意味表現について
平井 誠, 北橋忠宏 (豊橋技科大)
〔概要〕 先に報告した MARION-II を整理し, 発展させた言語理解システムの MARION-III での意味表現と知識表現の概要を述べる。
- (2) Lexicase versus LFG and the application of Lexicase to Japanese language processing
Stanley Starostá (Hawaii Univ.)
野村浩郷 (武蔵野通研)
〔概要〕 格文法の一つである Lexicase の概要を紹介し, LFG との比較, 日本語処理への応用について述べる。

(3) 高校教科書の語彙調査

中野 洋, 土屋信一, 鶴岡昭夫 (国立国語研)

〔概要〕 高校教科書理科・社会の語彙の概要, および, 語標・品詞・意味分類の量的構造について報告する.

(4) 物理的・化学的属性の概念分析とその図形パターンの自然言語理解への応用

岡田直之 (大分大・工)

〔概要〕 属性概念の中でも物理的, 化学的属性に関する概念について分析を行い, その結果を図形パターンの自然言語理解へ応用する.

(5) 機械翻訳における校正機能

岡島 惇, 新田義彦, 山野文行 (日立・シ研)

〔概要〕 機械翻訳の実用化に不可欠な校正機能について, 機械と人間の機能分担の観点から分析する.

(6) 英日機械翻訳システムの訳文生成について

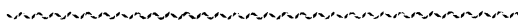
熊野 明, 天野真家 (東芝・総研)

〔概要〕 我々は英日機械翻訳システム TAURAS の開発を行っている. その訳文生成を主に形態素生成の面からとらえて報告する.

(7) 日英機械翻訳システム UENUS の解析メカニズム

村木一至, 市山俊治 (日電)

〔概要〕 UENUS 日英翻訳システムの構文・意味解析戦略とそれに基づいた日本語解析モジュールの実現方法について報告する.



◆ 研究会開催予定 (10月~59/3月)

自然言語処理	10月21日 (金)	名古屋
データベース・システム	11月10日 (木)	機械振興会館
	1月26日 (木)	同上
	3月23日 (金)	同上
	11月28日 (月)	東大(駒場)
知識工学と人工知能	1月下旬	阪大
	10月3日 (月)	横須賀通研
記号処理	12月16日 (金)	機械振興会館
	3月中旬	理研
	11月30日 (水)	機械振興会館
ソフトウェア工学	2月9日 (木)	北大
	10日 (金)	
	11月中旬	未定
マイクロコンピュータ	1月下旬	東京
	3月下旬	同上
	11月24日 (木)	機械振興会館(電子通信学会研究会と共催)
計算機アーキテクチャ	3月中旬	東京

計算機システムの制御と評価	10月14日(金)	機械振興会館
	12月2日(金)	同上
コンピュータビジョン	11月25日(金)	KDD研究所
	1月27日(金)	阪大
	3月12日(月)	機械振興会館
設計自動化	11月15日(火)	京大
	2月21日(火)	機械振興会館
分散処理システム	11月25日(金)	長岡技科大
日本文入力方式	11月9日(水)	商業界会館
	1月18日(水)	機械振興会館
	3月14日(水)	同上
グラフィクスとCAD	10月17日(月)	名大
	3月16日(金)	機械振興会館
数値解析	10月1日(土)	京大
	11月下旬	未定
	2月下旬	未定
ソフトウェア基礎論	12月	東京
	3月	同上

* 上記の各研究会に発表希望の方は、開催前々月の5日までに50字以内の論文概要を添えて、お申込み下さい。広く会員の方々の研究発表論文を募集しております。詳細につきましては事務局研究会係までお問い合わせ下さい。

◆ ソフトウェア工学研究会

今年度最後の研究会(第34回)を下記のとおり開催いたします。発表ご希望の方は、11月26日(土)までに、発表題目と50字以内の概要を添えて、事務局研究会係までお申込み下さい。

日時 昭和59年2月9日(木)・10日(金)

会場 北海道大学

議題 ソフトウェア工学全般にわたり、特に生産活動における人間的要素、ソフトウェア工学の教育および製品のユーザ親和性に注目した生産現場からの発表を歓迎します。

なお、今回は Laszlo A. Belady 博士 (IBM) の招待講演も予定しております。

◆ 計算機システムの制御と評価研究会

第21回 研究会を下記のごとく開催いたします。

日時 昭和58年12月2日(金) 午前10時～午後5時

会場 機械振興会館 地下3階研修2号室

議題 「小型 OS」特集

発表論文の募集

1. UNIX, CP/M, MS-DOS 等の小型 OS の使用経験, 使い勝手, 評価等
2. 開発済, 開発中, 開発計画のある汎用あるいは専用の小型 OS の紹介(目的, 機能, 設計, 評価等)
3. その他, 小型 OS, OS 論

等に関する発表論文を募集いたします。発表ご希望の方は、9月20日(火)までに、タイトル, 発表者(含連絡先), アブストラクト(50字位)をそえて、情報処理学会研究会係までお申し込み下さい。

会員事務の EDP 化について

前号本欄でお知らせしましたとおり、本月から会員事務を EDP 化いたしました。これに伴い会員番号をはじめ事務の取扱いが変更されますので、下記につきご留意ください。とくに会誌の配布、会費の徴収が一括扱いの会員は、本月から購読誌（論文誌・欧文誌）の配布、購読費の徴収も一括扱いとなりますので、ご了承ください。

1. 会員番号が7桁に統一されました。新しい会員番号を会誌送付用封筒の宛名ラベルでご確認ください。今後会員事務に関するご連絡、お問合せは新会員番号でお願いいたします。
2. 購読誌（論文誌・欧文誌）の送本先が会誌の送本先に統一されます。購読費は会費と合算して同時に請求いたします。なお、会費または購読費のいずれか一方でも4か月以上滞納になりますと、会誌・購読誌とも送本停止となります。
3. 送本先、住所等の変更の受付は毎月20日で締切り、翌月号から変更いたします。したがって21日以降の受付分の変更処理は翌々月号からとなります。
4. 電算機への登録につきましては十分チェックいたしましたが、万一以下のことがあります際には、お手数ですが本欄末尾に添付の「はがき」により、ご連絡ください。
 - (1) 宛名ラベルに誤りがある（郵便番号、住所、所属、氏名等）。
 - (2) 会誌が2冊送付された。
 - (3) 会誌が届かない。
 - (4) 購読誌（論文誌 Vol. 24, No. 5）が届かない。
 - (5) 購読していないのに論文誌（同上）が送付された。

論文誌・欧文誌の購読者へお知らせ

前月号ならびに本号でお知らせしたとおり、購読誌（論文誌・欧文誌）の送本先が会誌の送本先に統一されます。また、購読費は会費と合算して同時に請求するようになります。

つきましては、これにともない会費および会誌が一括扱いの会員は、これに準じて、購読費および購読誌も一括扱いとなりますので、ご了承ください。

なお、58年度購読費の未納者は、購読誌（論文誌・欧文誌）のみならず会誌も送本停止となりますので、ご留意のうえ早急に購読費をご納入ください。

情報処理学会第 27 回全国大会 (昭和 58 年後期) 参加について

期 日 昭和 58 年 10 月 18 日(火)~20日(木)
会 場 名古屋大学工学部 (名古屋市千種区不老町)

一般参加の方へ

1. 総 受 付 名古屋大学工学部 7 号館玄関内
2. 参 加 費 会 員 1,000 円 (賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます)
非会員 2,000 円
3. 論 文 集 代 定 価 6,000 円 (予約価 5,000円)
(当日, 予約者以外にお頒けできるのは, 残部のある場合に限りです)
4. 論文集予約 9 月 22 日締切の予約を原則としますので, 7 月号綴込みの申込書をご利用ください。

◎参加される方は, 総受付にて参加費を納め, 参加章を受けとってください。参加章を胸につけていないと会場に入れません。

一般講演を行う方へ

1. 講演者は, 講演の始まる前に, 必ず各セッション会場前の講演者受付で, 出席の確認を受けてください。
2. 講演者は, おそくとも自分の前の講演者の講演時間中には, 座長席の前に設けられた「講演者控」で待機するようにしてください。
3. 一般講演の時間は, 質疑を含めて, 15 分を原則とします(都合により 13 分のセッションもありますのでお含みください)。したがって時間内に十分に講演の主旨を伝えられるように, 事前の準備をお願いします。講演中でも時間がくれば打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の 5 分前および 3 分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代読は認めません。
6. 補助教具として, OHP が使えます。OHP に使う原図は説明の文字や線・点はなるべく簡潔に書き, よく判読できるよう準備してください(スライドは使用できません)。また, 掛図 (3 枚以内) は, 各自で黒板に止めてください。

交通案内

名古屋駅から地下鉄東山線にて本山駅下車徒歩(約 15 分), またはバス停本山から 78 番系統・新瑞橋行あるいは 84 番系統・島田住宅行にて名古屋大学前下車 (全国大会プログラム会場案内図参照)。

その他の一般注意

1. 昼食は学内食堂 (プログラムの会場案内図参照) が利用できます。休憩室, 関連機器展示会は講堂ロビーにありますので, ご利用ください。
2. 電話の呼び出しはいたしません, 万一止むを得ない場合のみ, 下記の電話を利用してください (掲示のみいたします)。Tel. 052(781)9434
3. 駐車場はありませんので, 自家用車による参加は厳禁します。

第 28 回 全国大会 (昭和 59 年前期) の開催について

昭和 59 年春の第 28 回全国大会は前号本欄でお知らせいたしましたように 59 年 3 月 13 日 (火) から 3 日間、電気通信大学で開催されます。

つきましては、論文申込み締切りは、11 月 14 日 (月) の予定ですので、論文発表希望者は、次号本欄に掲載予定の論文募集要領にとくに留意ください。

本会協賛の行事案内

	(開催期日・場所)	(主催・問合せ先)
第 26 回標準化全国大会	昭和 58 年 10 月 12 日 (水) ～14 日 (金) 農協ビル・日経ビル (東京・大手町)	(財)日本規格協会 業務部標準課全国大会係 Tel. 03(583)8001

「グラフィックスと CAD」シンポジウム開催のお知らせ

グラフィックスと CAD の研究開発は、近年急速な進展を遂げ、情報処理技術における基礎と応用の重要な一分野となりつつあります。そこで、従来の成果を総括し、今後の課題を論議する場として、標記シンポジウムを開催いたしますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

記

日 時	昭和 58 年 12 月 1 日 (木), 2 日 (金) 9:00～17:00
場 所	機械振興会館大ホール (地下 2 階)
協 賛	日本機械学会, 精機学会, 計測自動制御学会, 電子通信学会, 建築学会 日本グラフィックデザイナー協会
プログラム	(10 月号に掲載予定ですが、主要なトピックスについては 5 月号本欄の論文募集をご覧ください。)
参加費	会 員 10,000 円 (協賛学協会員は会員に準ずる。) 非 会 員 15,000 円 学生会員 5,000 円 (協賛学協会学生会員は学生会員に準ずる。)
申込締切	昭和 58 年 11 月 15 日 (火) (申込書は情報処理学会シンポジウム係あてお送り下さい。)

受付 No. _____

昭和 58 年 月 日

「グラフィックスと CAD」シンポジウム

参加申込書^{注1)}

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員^{注2)} 10,000 円 協賛学協会員は所属学協会名をご記入ください

非会員 15,000 円 ()

学生会員 5,000 円

○送金方法

_____円を 月 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門支店 0000608 三井銀行本店 4298739

住友銀行虎ノ門支店 10899 三和銀行虎ノ門東京公務部 21409

名儀人 東京都港区芝公園 3-5-8 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。 (No.)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

その他 (連絡事項をご記入下さい)

注) 1. 申込書は1枚1人として下さい (この用紙をコピーしたものでも可)。

2. 本学会賛助会員は1口1人として正会員に準じます。

支 部 だ よ り

中 部 支 部 講 演 会

日 時 昭和 58 年 10 月 4 日 (火) 14: 00~15: 00
場 所 名古屋大学大型計算機センター 5 階演習室
(名古屋市千種区不老町, Tel. 052(781)5111)
講 演 者 萩原 宏 (情報処理学会副会長)
演 題 計算機アーキテクチャについて
参 加 費 無料 (参加資格は問いません)

中 部 支 部 大 会 (電気関係学会東海支部連合大会)

期 日 昭和 58 年 10 月 2 日 (日), 3 日 (月)
会 場 岐阜大学工学部 (岐阜市柳戸 1-1)
特別講演 10 月 2 日 (日) 15: 00~16: 30
世界および日本の都市発展の歴史的経緯と今後の都市計画
加 藤 晃 (岐阜大学)
懇 親 会 10 月 2 日 (日) 16: 50~18: 40 生協第 2 食堂
会費 3,000 円 (学生 1,500 円)
参加希望者は当日総合受付にてお申し込みください。
事 務 局 〒464 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部電気系教室内
電気関係学会東海支部連合大会実行委員会 Tel. 052 (781) 2222

東 北 支 部 研 究 会

日 時 昭和 58 年 10 月 7 日 (金) 13: 00~17: 00
場 所 山形大学工学部 (米沢市城南 4-3-16)
発表論文 山形大学から 4 件, 他から 2~3 件の予定
備 考 山形大学以外の方で発表を希望される方は, 支部事務局へ申し込んで下さい。
(発表は 1 件 30 分程度, 締切は 9 月 14 日 (水))
Tel. 0222(22)1800 (内線 4301, 4298)

東 北 支 部 研 究 講 演 会

日 時 昭和 58 年 10 月 28 日 (金) 15: 00~17: 00
場 所 東北大学工学部電気情報館 311 号室 (3 階)
講 演 者 守田 徹 (東北大学工学部)
演 題 PASCAL のための辞書の作成と利用法

第 14 回 画像工学コンファレンス

5月号本欄でお知らせしたとおり、標記コンファレンスが次のような内容で開催されますので、多数参加されますようおすすめします。詳細なプログラムを本号末尾に掲載してありますので、ご参照ください。

- (1) 関連各分野の第一人者による招待講演
- (2) 『世界コミュニケーション』年にちなんだ特別セッションとデモンストレーション
- (3) 一般公募講演
- (4) コーヒを飲みながら討論できるポスタセッション

なお、懇親会も行いますが、さらに、'83 国際画像機器展が併催されます。

期 日 昭和 58 年 12 月 8 日 (木) 9:20~18:10 (懇親会 18:30~20:30)
9 日 (金) 9:00~18:40

会 場 農協ホール (東京・大手町・農協ビル9階) '83 国際画像機器展と併催

参加費 加盟学会員 8,000 円, 学生会員 4,000 円, 会員外 9,000 円, 懇親会費 3,500 円

申込方法 (1) 申込書に必要事項を記載し, 参加費をそえてお申込み下さい。

(2) 申込期限 11 月 15 日 (火)

(3) 申 込 先 〒105 東京都港区芝大門 2-3-14 一松ビル 1 号館 402 号

「第 14 回 画像工学コンファレンス事務局」 Tel. 03 (433) 2544

送金方法 申込書と共に, 現金書留によりお送り下さい。参加費のほか, 懇親会参加ご希望の方は, 懇親会費もあわせてお送り下さい。

論文集 当日会場でお渡しいたします。当日欠席の方にはコンファレンス終了後郵送いたします。また論文集のみご希望の方には, 8,000 円でコンファレンス終了後郵送いたします。

主 催 第 14 回 画像工学コンファレンス実行委員会

(担当: 電子通信学会・画像工学・パターン認識と学習・両研究専門委員会)

加盟学会・委員会 情報処理学会・コンピュータビジョン研究会・グラフィクスと CAD 研究会ほか

第 14 回 画像工学コンファレンス参加申込書

月 日

氏 名

所属学会 (所属するすべての学会に○印を付けてください)

応物 テレビ 電気 ME 画像電子 写真 電子写真 写真測量
 情報処理 印刷 レーザ 電子通信

勤務先 〒

連絡先 (電話番号)

懇親会 (いずれかに○印を) 参 加 不参加 未 定

送金額

	送 金 額												
<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="border: none;">参加費</td> <td style="border: none;"> <table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;">加盟学会員</td> <td style="border: none;">8,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">学生会員※</td> <td style="border: none;">4,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">会 員 外</td> <td style="border: none;">9,000 円</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="border: none;">懇親会費</td> <td style="border: none;">(3,500 円)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">(合 計)</td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table>	参加費	<table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;">加盟学会員</td> <td style="border: none;">8,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">学生会員※</td> <td style="border: none;">4,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">会 員 外</td> <td style="border: none;">9,000 円</td> </tr> </table>	加盟学会員	8,000 円	学生会員※	4,000 円	会 員 外	9,000 円	懇親会費	(3,500 円)	(合 計)		
参加費	<table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;">加盟学会員</td> <td style="border: none;">8,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">学生会員※</td> <td style="border: none;">4,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">会 員 外</td> <td style="border: none;">9,000 円</td> </tr> </table>	加盟学会員	8,000 円	学生会員※	4,000 円	会 員 外	9,000 円						
加盟学会員	8,000 円												
学生会員※	4,000 円												
会 員 外	9,000 円												
懇親会費	(3,500 円)												
(合 計)													

※ 大学院学生を含む

欧文誌の原稿募集について

1978年4月に欧文誌“Journal of Information Processing”を創刊いたしました。同誌に論文発表を希望される会員は、下記を参照のうえ原稿を寄せられるようご案内いたします。

1. 欧文誌発行の目的

わが国の情報処理の研究水準向上のため、情報処理に関する諸研究の国際交流をはかる。

2. 発行計画

(1) 50ページ×4回/年=200ページ, A4判

(2) 純学術研究発表誌とし、Paper と Short Note を募集する。

(i) Paper (原則として刷上り8ページ以内)——「情報処理」掲載の論文と同じ査読規準に基づき、欧文誌編集委員会で採録を認められた欧文論文。

(ii) Short Note (2ページ以内に限る)——「情報処理」掲載のショート・ノートに準じて、採録を認められた欧文による小論文

3. 「情報処理」との関連

Paper と Short Note の和文アブストラクトを「情報処理」に掲載する。

4. 論文原稿の書き方

(1) 用紙はA4判(21cm×30cm)の白紙を使い、1行65ストローク、ダブルスペースで上下3cm(強)の余白を残し、パラグラフは初めを5～6字分あける。この様式で原稿をタイプした場合(図表なしで)24枚で、欧文誌刷上り8ページに当る。なお文章中指定のない場合の記号は立体、数式中の記号は(イタリック)となる。

(2) 査読の都合上、タイトル、氏名、所属およびアブストラクトを和英両語で別紙に記述する。なお和文アブストラクトは英文アブストラクトの邦訳とする。

(i) Paper のアブストラクト——200語以内

(ii) Short Note のアブストラクト——50語以内

(3) 図表(写真を含む)は、完成図(そのまま縮小製版できるもので、縮版した場合の希望のできあがり寸法を指定する。なお、文字は縮版のさいも読める大きさに書く。)を本文と別にし、説明文は別紙にまとめてタイプし、本文の末尾につける。ただし原稿中に図表のそう入場所を指定する。

(4) 寄稿のさいキーワード表を添付する。(用紙は欧文誌係にご請求ください。)

5. 原稿の送付

(1) コピー4部を送付する。

(2) 送付先: 情報処理学会「欧文誌係」

〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 号

6. 別刷料

下記の通り別刷100部を印刷実費の一部として、ご負担いただきます。

ページ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
別刷料	5,000	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	55,000	70,000